

かびらわんおよびおもとだけ
川平湾及び於茂登岳

国 名勝

MAP 19

川平湾は奥深い入り江の風光明媚な湾で、湾内には大小7つの小島が湾内をふさぐように点在している。晴れた日には県内最高峰の於茂登岳（標高526m）を背景に、紺碧の海に浮かぶように佇む島々と真っ白な砂浜のコントラストが絶景を作り出す。伝説や史実がちりばめられた川平湾の海浜景観は、島の大本として崇拝されてきた於茂登岳の山岳景観は、鑑賞上価値が高い風致景観である。

■駐車場／トイレ：有り（川平公園）

あかいろめみやとりおん
赤イロ目宮烏御嶽

有形文化財（建造物）
有形民俗文化財

MAP 20

この御嶽は、石垣村の宮烏御嶽の神を勧請して建てられた由来がある。その昔、川平村では農作物の管理状況を月に一度、村のツカサ（神女）から石垣村のツカサを通して宮烏御嶽の神に報告する習わしがあった。しかし、毎月川平村から石垣村へ向うのは大変なので、川平に宮烏御嶽の分神を祀った御嶽を建てたとの伝承がある。

■駐車場：無

なすじむらねばるおんのあわつたいかいがんりん
仲筋村ネハル御嶽の亜熱帯海岸林

天然記念物

MAP 23

ネハル御嶽は明治に廃村になった仲筋村の聖域で、周辺の海岸林は太平洋戦争の開港移住等による開発が多くが失われたが、この地域は信仰の対象とされ、うっそうとした森林が残っている。海岸林内にはクワノハエノキ、クサミズキ、ハスノハギリ等の高木や、アコウネツアイラン、ヤエマヤマガイソウ等、多くの植物が生育し、かつての八重山の森林環境を知ることができる場所である。

■駐車場：無

うがんざき
御神崎

国登録 名勝地関係

MAP 41

石垣島最西端の屋良部半島は、緑色凝灰岩の断崖に囲まれ、遙か西方に西表島を望める風光明媚な景勝地である。特に北西端部の御神崎は神が降臨する聖地として崇敬されてきた。峠の北側に位置する岩場の頂部では「ブラスツルイシ」（姉の頭石）や「イシナカン」、「アコウネツアイラン」（姉の頭石）など複数の民話にまつわる大岩が目を見守る。周辺海域は航路の難所で、かつて神女が航海安全を祈願した聖地でもある。島の歴史や文化・伝承に触れる風致景観を鑑賞できる場所である。

■駐車場：有

かいていでんせんりくあげしつあと
海底電線陸揚室跡

史跡

MAP 18

通称デンシヤ（電信屋）と呼ばれるこの施設は、明治30（1897）年に建てられたもので、日本本土と台湾を結ぶ海底電線の中継地として約半世紀にわたり使われた。当初は陸軍省が管理していたが、のちに逓信省に移管され、公衆通信にも利用された。太平洋戦争では連合軍の攻撃目標となり、壁には激しい銃撃の跡が数々残っている。

■駐車場：無

ふさきかんのんどうおよびそのしゅうへん
富崎観音堂及びその周辺

史跡

MAP 16

富崎観音堂は1742年に西表直香により建てられ、観音像3体が祀られている。観音像は、直香が中国へ漂着した際に中国人から贈られた2体と、桃林寺住職が妻貞鶴に贈った1体で、当初自宅で信仰していたが、のちに大浜のカヤニ、新川のフッコニを経て富崎原にお堂を建て海上安全の祈願所とした。

■駐車場：無

おおたばるいせき
大田原遺跡

史跡

MAP 17

約3800～3900年前の遺跡で下田原式土器が出土している。隣接地に無土器期の神田貝塚があり、昭和53（1978）年の発掘調査で大田原遺跡と神田貝塚が重なる層序を調査したところ、神田貝塚層が大田原遺跡層の上にあることが確認でき、有土器期の大田原遺跡が無土器期の神田貝塚より古いことが判明した。従来の八重山考古学編年を転載させたきつかけとなった貴重な遺跡である。

■駐車場：無

国 国指定 県 県指定 市 市指定
国登録 国登録

かびらかいづか
川平貝塚

史跡

MAP 21

明治37（1904）年、考古学者の島居龍蔵博士によって県内で初めて調査された遺跡で、沖縄考古学史上記念すべき遺跡である。川平貝塚は仲間間と獅子崎を含む一帯の畑や原野に形成され、出土遺物から14～16世紀頃の遺跡とされている。出土した土器は、沖縄本島以北の土器とは別系統のもので、外側に耳状の把手がついた形状から「外耳土器」と名付けられた。

■駐車場：無

さきしましとらひばんむい とおみばんしよ かびらひばんむい
先島諸島火番盛 遠見番所 川平火番盛

史跡

MAP 22

川平火番盛は琉球王国時代、海上交通の監視や通報のために設置されたもので、標高68.9mの小丘上に石積みや登降用の石段が残っている。川平ではピーナムル（火番盛）と呼ばれ、伝承によると平久保で烽火があがると、直ちに応火し、船影を確認した後に村役人の書付を早馬で最元へ報告したとされている。

■駐車場：無

あらかわのかんひざくらじせいち
荒川のカンヒザクラ自生地

天然記念物

MAP 24

カンヒザクラは、台湾や中国南部に分布しているサクラの仲間、荒川のカンヒザクラは国内唯一の貴重な自生地である。カンヒザクラは荒川上流地帯の常緑樹の間に点在し、古木の樹齢は150～200年と推定されている。1月から2月にかけての開花期には、常緑樹のなかに真紅に染まったサクラを観察することができる。

■駐車場：有（荒川の滝）

ふるとさばるいせき
フルスト原遺跡

史跡

MAP 36

崖上に連なる石積み障壁、石壁のほか墓、御嶽を含む面積12.3haの広大な遺跡である。発掘調査によつて、方形に区画された石室（屋敷跡）が15基確認され、そのうち7基が復元されている。この遺跡は、沖縄本島にあるグスク跡と多くの点が類似する平面、石壁の規模や構造上からみても独特のもので、現在、史跡整備が行われている。

■駐車場：大浜地区歴史遺産広場

いしがじまがいかいがんのつなみいせん（つなみうふし）
石垣島東海岸の津波石群（津波大石）

天然記念物

MAP 37

約2000年前の大津波により打ち上げられた巨大な津波石で、海岸から約150m内陸側の標高10mの場所にある。年代測定により、津波石に付着したサゴゴ年代が約2000年前、約3500年前との結果が得られている。1771年の明和大津波によって、石垣島の東海岸には津波石が多く打ち上げられたが、それ以前にも巨大な津波が石垣島を襲ったことを裏付ける貴重なものである。

■駐車場：無

ふさきかんのんどうおよびそのしゅうへん
富崎観音堂及びその周辺

史跡

MAP 16

富崎観音堂は1742年に西表直香により建てられ、観音像3体が祀られている。観音像は、直香が中国へ漂着した際に中国人から贈られた2体と、桃林寺住職が妻貞鶴に贈った1体で、当初自宅で信仰していたが、のちに大浜のカヤニ、新川のフッコニを経て富崎原にお堂を建て海上安全の祈願所とした。

■駐車場：無

ふさきかんのんどうおよびそのしゅうへん
富崎観音堂及びその周辺

史跡

MAP 16

富崎観音堂は1742年に西表直香により建てられ、観音像3体が祀られている。観音像は、直香が中国へ漂着した際に中国人から贈られた2体と、桃林寺住職が妻貞鶴に贈った1体で、当初自宅で信仰していたが、のちに大浜のカヤニ、新川のフッコニを経て富崎原にお堂を建て海上安全の祈願所とした。

■駐車場：無

ふさきかんのんどうおよびそのしゅうへん
富崎観音堂及びその周辺

史跡

MAP 16

富崎観音堂は1742年に西表直香により建てられ、観音像3体が祀られている。観音像は、直香が中国へ漂着した際に中国人から贈られた2体と、桃林寺住職が妻貞鶴に贈った1体で、当初自宅で信仰していたが、のちに大浜のカヤニ、新川のフッコニを経て富崎原にお堂を建て海上安全の祈願所とした。

■駐車場：無

さきしましとらひばんむい とおみばんしよ ひらくぼとおみだい
先島諸島火番盛 遠見番所 平久保遠見台

史跡

MAP 28

石垣島最北端の平久保崎は、琉球王国時代、船をいち早く見つけることができる場所、古くから、往来する船を監視するための遠見台が設置された。平久保遠見台は、昭和18（1943）年の太平洋戦争中には海軍の見張所として使われ、現在もコンクリートの基礎とアンテナ台座が残っている。

■駐車場／トイレ：有り（平久保崎灯台）

よねはらのやえやまやしくんらく
米原のヤエヤマヤシ群落

天然記念物

MAP 25

ヤエヤマヤシは樹高25mに達する常緑高木で、世界中で石垣島と西表島だけに自生する1属1種の学術的にも貴重なヤシである。ヤエヤマヤシの群落は、米原の他に西表島のウブンドルと干立にもあるが、面積や生育数からも米原の群落が最大規模で、樹高15～20m、胸高直径30cmに達する巨木が多数生育している。また、群落内には、市指定天然記念物のイシガキニイニ（セミ）が生息する。

■駐車場／トイレ：有

ふきどうがわのひるぎくんらく
吹通川のヒルギ群落

天然記念物

MAP 26

吹通川は野底岳を水源とする全長2.2kmの河川で、海水と淡水が混じり合う汽水域に広大なマングローブ林が広がっている。河口から内陸側に向かってヤエヤマヒルギとオヒルギが群落を作り、内陸側にメルヒルギが点在して生育している。干潮時は干潮に降りてカニや小魚等、動植物の観察をすることができる。

■駐車場：有

まじゃんがー
真謝井戸

市 史跡

MAP 31

この井戸は、18世紀初期の記録にもある白保の古いウリカー（降り井戸）。1771年の明和大津波で埋没したが、沖縄本島首里出身の馬真謝という人物が再掘したという伝承がある。水道の普及により共同井戸は使われなくなったが、神の水としての信仰は篤く、井戸への祈願が行われている。

■駐車場：無

みやらはまがわのひるぎりん
宮良川のヒルギ林

天然記念物

MAP 34

宮良川河口に発達したマングローブ林で、河口から上流約2kmに広がっている。マングローブ林は、海水と淡水が混ざり合う河口や海岸などの泥地に発達する植物群落で、ヒルギの仲間が多いことからヒルギ林とも呼ばれる。宮良橋から川に降りて、ヤエヤマヒルギやオヒルギ等のマングローブ林を観察することができる。限られた場所のみ生育するため、環境保護には十分注意が必要である。

■駐車場：有

あかんましゅーのはか
赤馬主の墓

有形文化財（建造物）

MAP 35

宮良湾を望む標高約40mの緩斜面にあり、礎石に横穴を掘って作られた墓で、墓口が大小6個の石で塞がれた独特の形状となっている。17世紀後半の建造とされ、赤馬主が葬られた墓といわれる。赤馬主とは、八重山を代表する民謡「赤馬節」の作者で、この墓は赤馬主が生前に自ら作ったと伝わっている。

■駐車場：無

ふさきかんのんどうおよびそのしゅうへん
富崎観音堂及びその周辺

史跡

MAP 16

富崎観音堂は1742年に西表直香により建てられ、観音像3体が祀られている。観音像は、直香が中国へ漂着した際に中国人から贈られた2体と、桃林寺住職が妻貞鶴に贈った1体で、当初自宅で信仰していたが、のちに大浜のカヤニ、新川のフッコニを経て富崎原にお堂を建て海上安全の祈願所とした。

■駐車場：無

ふさきかんのんどうおよびそのしゅうへん
富崎観音堂及びその周辺

史跡

MAP 16

富崎観音堂は1742年に西表直香により建てられ、観音像3体が祀られている。観音像は、直香が中国へ漂着した際に中国人から贈られた2体と、桃林寺住職が妻貞鶴に贈った1体で、当初自宅で信仰していたが、のちに大浜のカヤニ、新川のフッコニを経て富崎原にお堂を建て海上安全の祈願所とした。

■駐車場：無

ふさきかんのんどうおよびそのしゅうへん
富崎観音堂及びその周辺

史跡

MAP 16

富崎観音堂は1742年に西表直香により建てられ、観音像3体が祀られている。観音像は、直香が中国へ漂着した際に中国人から贈られた2体と、桃林寺住職が妻貞鶴に贈った1体で、当初自宅で信仰していたが、のちに大浜のカヤニ、新川のフッコニを経て富崎原にお堂を建て海上安全の祈願所とした。

■駐車場：無

ふさきかんのんどうおよびそのしゅうへん
富崎観音堂及びその周辺

史跡

MAP 16

富崎観音堂は1742年に西表直香により建てられ、観音像3体が祀られている。観音像は、直香が中国へ漂着した際に中国人から贈られた2体と、桃林寺住職が妻貞鶴に贈った1体で、当初自宅で信仰していたが、のちに大浜のカヤニ、新川のフッコニを経て富崎原にお堂を建て海上安全の祈願所とした。

■駐車場：無

ふさきかんのんどうおよびそのしゅうへん
富崎観音堂及びその周辺

史跡

MAP 16

富崎観音堂は1742年に西表直香により建てられ、観音像3体が祀られている。観音像は、直香が中国へ漂着した際に中国人から贈られた2体と、桃林寺住職が妻貞鶴に贈った1体で、当初自宅で信仰していたが、のちに大浜のカヤニ、新川のフッコニを経て富崎原にお堂を建て海上安全の祈願所とした。

■駐車場：無

ふさきかんのんどうおよびそのしゅうへん
富崎観音堂及びその周辺

史跡

MAP 16

富崎観音堂は1742年に西表直香により建てられ、観音像3体が祀られている。観音像は、直香が中国へ漂着した際に中国人から贈られた2体と、桃林寺住職が妻貞鶴に贈った1体で、当初自宅で信仰していたが、のちに大浜のカヤニ、新川のフッコニを経て富崎原にお堂を建て海上安全の祈願所とした。

■駐車場：無

ふさきかんのんどうおよびそのしゅうへん
富崎観音堂及びその周辺

史跡

MAP 16

富崎観音堂は1742年に西表直香により建てられ、観音像3体が祀られている。観音像は、直香が中国へ漂着した際に中国人から贈られた2体と、桃林寺住職が妻貞鶴に贈った1体で、当初自宅で信仰していたが、のちに大浜のカヤニ、新川のフッコニを経て富崎原にお堂を建て海上安全の祈願所とした。

■駐車場：無

ふさきかんのんどうおよびそのしゅうへん
富崎観音堂及びその周辺

史跡

MAP 16

富崎観音堂は1742年に西表直香により建てられ、観音像3体が祀られている。観音像は、直香が中国へ漂着した際に中国人から贈られた2体と、桃林寺住職が妻貞鶴に贈った1体で、当初自宅で信仰していたが、のちに大浜のカヤニ、新川のフッコニを経て富崎原にお堂を建て海上安全の祈願所とした。

■駐車場：無

ふさきかんのんどうおよびそのしゅうへん
富崎観音堂及びその周辺

史跡

MAP 16

富崎観音堂は1742年に西表直香により建てられ、観音像3体が祀られている。観音像は、直香が中国へ漂着した際に中国人から贈られた2体と、桃林寺住職が妻貞鶴に贈った1体で、当初自宅で信仰していたが、のちに大浜のカヤニ、新川のフッコニを経て富崎原にお堂を建て海上安全の祈願所とした。

■駐車場：無

ふさきかんのんどうおよびそのしゅうへん
富崎観音堂及びその周辺

史跡

MAP 16

富崎観音堂は1742年に西表直香により建てられ、観音像3体が祀られている。観音像は、直香が中国へ漂着した際に中国人から贈られた2体と、桃林寺住職が妻貞鶴に贈った1体で、当初自宅で信仰していたが、のちに大浜のカヤニ、新川のフッコニを経て富崎原にお堂を建て海上安全の祈願所とした。

■駐車場：無

ふさきかんのんどうおよびそのしゅうへん
富崎観音堂及びその周辺

史跡

MAP 16

富崎観音堂は1742年に西表直香により建てられ、観音像3体が祀られている。観音像は、直香が中国へ漂着した際に中国人から贈られた2体と、桃林寺住職が妻貞鶴に贈った1体で、当初自宅で信仰していたが、のちに大浜のカヤニ、新川のフッコニを経て富崎原にお堂を建て海上安全の祈願所とした。

■駐車場：無

ふさきかんのんどうおよびそのしゅうへん
富崎観音堂及びその周辺

史跡

MAP 16

富崎観音堂は1742年に西表直香により建てられ、観音像3体が祀られている。観音像は、直香が中国へ漂着した際に中国人から贈られた2体と、桃林寺住職が妻貞鶴に贈った1体で、当初自宅で信仰していたが、のちに大浜のカヤニ、新川のフッコニを経て富崎原にお堂を建て海上安全の祈願所とした。

■駐車場：無

ふさきかんのんどうおよびそのしゅうへん
富崎観音堂及びその周辺

史跡

MAP 16

富崎観音堂は1742年に西表直香により建てられ、観音像3体が祀られている。観音像は、直香が中国へ漂着した際に中国人から贈られた2体と、桃林寺住職が妻貞鶴に贈った1体で、当初自宅で信仰していたが、のちに大浜のカヤニ、新川のフッコニを経て富崎原にお堂を建て海上安全の祈願所とした。

■駐車場：無

ふさきかんのんどうおよびそのしゅうへん
富崎観音堂及びその周辺

史跡

MAP 16

富崎観音堂は1742年に西表直香により建てられ、観音像3体が祀られている。観音像は、直香が中国へ漂着した際に中国人から贈られた2体と、桃林寺住職が妻貞鶴に贈った1体で、当初自宅で信仰していたが、のちに大浜のカヤニ、新川のフッコニを経て富崎原にお堂を建て海上安全の祈願所とした。

■駐車場：無

ふさきかんのんどうおよびそのしゅうへん
富崎観音堂及びその周辺

史跡

MAP 16

富崎観音堂は1742年に西表直香により建てられ、観音像3体が祀られている。観音像は、直香が中国へ漂着した際に中国人から贈られた2体と、桃林寺住職が妻貞鶴に贈った1体で、当初自宅で信仰していたが、のちに大浜のカヤニ、新川のフッコニを経て富崎原にお堂を建て海上安全の祈願所とした。

■駐車場：無

ふさきかんのんどうおよびそのしゅうへん
富崎観音堂及びその周辺

史跡

MAP 16

富崎観音堂は1742年に西表直香により建てられ、観音像3体が祀られている。観音像は、直香が中国へ漂着した際に中国人から贈られた2体と、桃林寺住職が妻貞鶴に贈った1体で、当初自宅で信仰していたが、のちに大浜のカヤニ、新川のフッコニを経て富崎原にお堂を建て海上安全の祈願所とした。

■駐車場：無

ふさきかんのんどうおよびそのしゅうへん
富崎観音堂及びその周辺

史跡

MAP 16

富崎観音堂は1742年に西表直香により建てられ、観音像3体が祀られている。観音像は、直香が中国へ漂着した際に中国人から贈られた2体と、桃林寺住職が妻貞鶴に贈った1体で、当初自宅で信仰していたが、のちに大浜のカヤニ、新川のフッコニを経て富崎原にお堂を建て海上安全の祈願所とした。

■駐車場：無

ふさきかんのんどうおよびそのしゅうへん
富崎観音堂及びその周辺

史跡

MAP 16

富崎観音堂は1742年に西表直香により建てられ、観音像3体が祀られている。観音像は、直香が中国へ漂着した際に中国人から贈られた2体と、桃林寺住職が妻貞鶴に贈った1体で、当初自宅で信仰していたが、のちに大浜のカヤニ、新川のフッコニを経て富崎原にお堂を建て海上安全の祈願所とした。

■駐車場：無

いしがじまひらくぼのやえやましたんじせいち
石垣島平久保のヤエヤマシタン自生地

天然記念物

MAP 27

ヤエヤマシタンはマメ科の落葉高木で、国内では石垣島のみ分布している。平久保には樹高が約18m、約16mの2本の巨木が生育し、周辺には幼木が多数生育し、自生地としての環境が守られている。ヤエヤマシタンはかつて島内各地に自生していたが、高級用材として乱伐され、現在、自生地として確認されているのは4か所のみである。

■駐車場：無

しらほきあわたばどうけいせき
白保芋根田原洞穴遺跡

史跡

MAP 38

白保芋根田原洞穴遺跡は、石垣島東部にあり、旧石器時代から近世までの遺跡である。約2万8000年前の土器が発見され、旧石器時代に石垣島に人類が住んでいた証拠となった。中でも、約2万7000年前の土器が解剖学的な位置を保った状態で発掘され、旧石器時代の墓地だったと考えられている。遺跡は長期間使用され、土器や石器、動物の骨も発見され、葬制の変遷を明らかにする重要な資料となっている。令和2年に国指定史跡となった。

■空港敷地内のため、観覧不可

だいまんげー・ようまんげー、ちゅうまんげー
大マンゲー・小マンゲー、中マンゲー

市 天然記念物

MAP 29

マンゲー山は、大マンゲー（標高約103m）、小マンゲー（同約60m）、中マンゲー（同約90m）からなる岩山で、今から5500～6500万年前に海底に沈積した地層が隆起してできたものである。高温多湿の亜熱帯の環境下で、石灰岩が風化浸食を受けて形成された地形は、円錐カルストと呼ばれる。石垣島の成り立ちや琉球列島の地質構造、古生物を知るうえで重要な場所である。

■駐車場：無

とうざとんだいせき
熊里恩田遺跡

史跡

MAP 30

通称ベーフ（屏風）山と呼ばれる小高い丘陵上に形成された14～15世紀の遺跡で、発掘調査によって中国製陶磁器や地元産土器、石器、鉄器、古銭等が出土している。遺跡が形成されている古第3紀前期石灰岩がコンクリート原料として砕石されたため、遺跡の一部も採石により破壊されている。

■駐車場：無

あだどーなー
アタトゥナー

市 史跡

MAP 32

この井戸は、宮良村の共同井戸で、水道が普及するまで使われたウリカー（降り井戸）である。ウリカーとは直接水面まで降りて水を汲む井戸で、深さ12m、降り道21m、40段の石段が設けられている。伝承によると、神に願いを立てて水脈を掘り当てたと言われ、以来神の水として大切にされ、現在もアタトゥナー願いが行われている。

■駐車場：無

みやらはまがわのひるぎりん
宮良川のヒルギ林

天然記念物

MAP 34

宮良川河口に発達したマングローブ林で、河口から上流約2kmに広がっている。マングローブ林は、海水と淡水が混ざり合う河口や海岸などの泥地に発達する植物群落で、ヒルギの仲間が多いことからヒルギ林とも呼ばれる。宮良橋から川に降りて、ヤエヤマヒルギやオヒルギ等のマングローブ林を観察することができる。限られた場所のみ生育するため、環境保護には十分注意が必要である。

■駐車場：有

あかんましゅーのはか
赤馬主の墓

有形文化財（建造物）

MAP 35

宮良湾を望む標高約40mの緩斜面にあり、礎石に横穴を掘って作られた墓で、墓口が大小6個の石で塞がれた独特の形状となっている。17世紀後半の建造とされ、赤馬主が葬られた墓といわれる。赤馬主とは、八重山を代表する民謡「赤馬節」の作者で、この墓は赤馬主が生前に自ら作ったと伝わっている。

■駐車場：無

ふさきかんのんどうおよびそのしゅうへん
富崎観音堂及びその周辺

史跡

MAP 16

富崎観音堂は1742年に西表直香により建てられ、観音像3体が祀られている。観音像は、直香が中国へ漂着した際に中国人から贈られた2体と、桃林寺住職が妻貞鶴に贈った1体で、当初自宅で信仰していたが、のちに大浜のカヤニ、新川のフッコニを経て富崎原にお堂を建て海上安全の祈願所とした。

■駐車場：無